

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>職員一人一人はそれぞれの持ち場で熱心に働いている一方で、持ち場と持ち場のつながりが淡白で、横浜国大スタッフとしてのまとまり、一体感が感じられない。</p> <p>その理由としては、</p> <p>①横浜国大スタッフとしてのアイデンティティを共有していない</p> <p>②情報サービスに対する意識不足： 知りたい気持ちに配慮した情報提供をしていない</p> <p>③業務の目的と手段の混同： 本来手段であるべきものが目的化して、業務の本質を見失っていることが考えられる。</p> <p>自分の持ち場についても、そうでないことについても自由な発想で意見や情報が交換できる場を設け、業務の本質を意識しながら皆で知恵を出し合えれば、大学業務全体がもっと活性化するのではないだろうか。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>持ち場の異なる職員どうしが自由に意見や情報が交換できる場が設けられたことは、とても良かった。</p> <p>今回はテーマが漠然としていたので、活発な意見交換には至らなかったが、今後このような場を継続していくためのきっかけ作りとして良い企画だったと思う。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>一方的に識者の話を聞くのではなく、自分の持ち場についても、そうでないことについても自由な発想で意見や情報が交換できる場として、今回のような企画が継続されることを望む。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>同じ学内で共に働く職員なので、各職員が共通の目標を持って業務にあたることができたらさらに良くなると思います。</p> <p>とかく所属や職種、業務内容で隔たりを付けてしまいがちですが、その様な区別は関係なく、互いに支え合っていく気持ちがあれば教員との温度差や仕事の押し付け合いは少なくなり、情報の共有化も進むと思います。</p> <p>以前、ホームカミングデーの手伝いで、卒業生、教職員、学生が一つの目標に向かって準備をし、イベントを実施できたことはとても達成感があり、やりがいのある仕事でした。達成感のあるような仕事も地道な仕事も学内には様々ですが、皆が助け合う気持ちを持って業務にあたれたら、大学はもっと良くなると思います。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>今回、新しい形の「学びのひろば」に参加させていただき、ありがとうございました。</p> <p>運営方法を少人数制のグループに分けて、一人一人が発言しやすくなったことは発言の機会も増え、多くの意見が出るようになり良かったと思います。また、各グループが部署や年齢の異なるメンバーで構成されていることも、これまで面識のなかった者同士が話をする良い機会になったと思います。さらには、今回の「横浜国大について語ろう！」は、どなたでも共通の話題として話しやすいテーマであり、グループ全員がこのテーマについて意見を述べ、新たに気付いたことも多くあったと思いますし、改めて大学について考える良い機会となったと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>グループ討議を通して出された意見や問題点などを、今後どの様に業務や各職員の意識改善に結びつけていくかが一つの課題であると思います。グループ内で話し合っただけでも職員にとって気付きや仕事に対する意欲の醸成に繋がるとは思います。さらに良い意見などについては実現できるような仕組みが作れたら職員の参加は増すのではないかと思います。</p> <p>今後多くの職員に参加していただき、継続していくことが大切だと思います。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>今回の学びのひろばのグループでの話し合いで、横浜国大のいいところを挙げようという話になったが自分を含め誰もすぐに挙げる事ができなかったため、学びの広場を通じて職員全体で横浜国大のアイデンティティを共有できたらいいと思う。</p> <p>6月末に清掃業者が変わってから以前より講義棟が汚れていることが増えたように感じる。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>役職の違う人どうしでお互いに仕事上で抱えている問題を話し合うことで、今まで自分が気づいてなかった自分の仕事の問題にも気づくことができた。</p> <p>情報の共有化に難があると多くの人を感じているということが分かったため、今後はそれを改善する方法を考えながら仕事を行おうと思う。また、次回の学びの広場で情報の共有化について話し合うことができたらいいなと思う。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回の学びの広場で、部局によって同じ係の同じ仕事でもやり方が異なるため業務の効率化が図りづらいという意見や、情報の共有化が図れていないという意見が出たため、今回のようバラバラの役職の人でグループを作るのではなく経理課と部局の会計係、教務課と部局の学務係など関わりの強い人同士でグループを作って話し合う機会があるといい。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>私は学生として4年間在籍していたので、横浜国大に対するそのときの印象が未だ強く残っており、それは現在の業務（学務系）にも時折役に立つことがあると感じている。職員として横浜国大に対峙してみて改めて思うのは、当たり前なことだが私が知らない国大の側面が山ほどあるということだ。学生時代には見えていなかったことが今見えるようになってきている、と同時にこれから様々な部署で勤務経験を積む度に新たな一面が見えてくることになるのだろう。したがって、職員としてどのようにステップアップしていくかということに拘泥されず、学生や教員、その他色々な関係性のなかで自分に何ができるのかという視点を常に忘れずに、横浜国大について考えていきたいと思っている。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>普段なかなか交流する機会の少ない（あるいは皆無な）方々のお話を聞くことができたのが、何よりの収穫だった。また、普段身近な人たちと雑談で何気なく話しては盛り上がっている横浜国大のこと、職場や普段の業務のことについて、いつもとは異なる環境、メンバーのなかで発言することで、自分が感じていることや考えを改めて見直すことができたのもよかった。毎日の業務をこなしているだけだとやはり視野が狭くなりがちで、ついつい横浜国大全体のなかの役割認識というものが薄れてしまうので、今回のような機会を利用してその点を改善するきっかけになればいいと思う。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今後も②で書いたような意識を持つ契機として「学びのひろば」を定期的で開催してほしいとは思いますが、前年度まで企画されていたような国大以外の大学運営に携わる方々の話を聴く機会は、これからもあっていいのではないかと思います。特に私などは新規採用されたばかりで、蓄積されているものがあまりにも少ないため、自分の考えを発言しようにもすんなりと言葉になってくれないと感ずることがある。もちろんだからこそ通例にとらわれない考え方を持ち込むことができるということもあるだろうが、個人的にはそのためにも様々な人の話を聴いて食欲に学んでいきたいと思う。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改組の必要性はどういったところにあるのか。</li> <li>・ 他部局等での業務内容が把握できない。</li> </ul>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の仕事では関らない人と顔を見て話しができてよかった</li> <li>・ 他部局の業務を知るために職場体験をするのは興味がある。</li> </ul>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に開催の通知がほしい。</li> <li>・ 担当部署・業務が被らないようにグループ分けをしたようだが、業務が違うためか深い話までできないと感じた。多少、担当部署・業務の顔見知りの方が意見は出しやすい。</li> <li>・ 教員にも参加してもらうのはどうか。大学運営には教員の関りが不可欠なので、教員から見た横国について感じるどころ、事務組織、事務職員への要望・意見を聞く。</li> </ul>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「コミュニケーション不足」という話がありましたが、全体としてのまとまりがなく、それぞれがそれぞれの利益の範囲内ではしか仕事が出来ていないと感じます。</li> <li>● 学生に対する色々な説明が足りないと感じます。「学内の工事が何をやっているのかわからない」という意見がありましたが、学生からも、「そんなことするお金があるなら印刷代を無料にしてくれ（*学内の学生向けプリンターは2月からすべて有料になりました）」と言われたことがあります。学費がどう使われているかわかりやすく説明できていないのでは？</li> </ul>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>思ったよりも堅苦しくなく話のできたので少し安心しました。半分くらいははじめてお会いする方でしたので、お知り合いになれる機会をいただけてよかったなと思います。ありがとうございました。</p> <p>次回からはもう少し踏み込んだ内容になるのかもしれませんが、「解決策を考えなくては」とか「報告書を書かなくては」といったプレッシャーがあると参加者が増えないかも？という気がします。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>多くの人に出席して欲しいと言うことでしたが、窓口を抱える業務に携わっているので、大勢での参加はなかなか難しいと感じます。「メールよりもリアルコンタクト」というのは良い点も多いですが、メールや Web の機能を生かした方法も考えてもいいかもしれません。</p> <p>また、図書館では、主任以下で、時間外に自主的な勉強会を開いたりしています（参加は任意）。時間外と言う選択肢も良し悪しだとは思いますが、「多くの人参加」を目指すならば多くの選択肢を提供していただくのもひとつの手段だと思います。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>自分の係の仕事を、責任を持って遂行することはもちろん重要であるが、自分の係の仕事「のみ」では十分ではないと思う。同じ課内でも、自分の担当以外の係の仕事内容への問い合わせにはほとんど対応できないことが多い。実際学生支援課でも、学生が問い合わせた内容がどこの係の担当になっているかわからず、迅速に対応できないということがあった。そのようなことを未然に防ぐために、自分の持ち場以外の仕事にも関心を持ち、お互いの仕事を知っておく必要があると思った。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>初めてお会いする方が多いと思ったが、実際に話してみると、自分が今まで担当した仕事でお世話になった係の方も多かった。電話や書類でのやりとりばかりだったが、このように顔を見てお話をうかがう機会があったのはとても良いと思った。自分がまだ知らない仕事や大学の様子など、とても勉強になることが多く、今後の仕事に役立てていきたいと思う。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>普段あまりお話する機会がない人が多いので、今回のような場があると良いと思った。また、様々な事情を汲んで今回のように14時から16時という時間帯になったのだと思うが、学生の窓口になっている学務は、学生が多く訪れる午後の時間帯よりは午前の時間帯のほうが都合が合う・・・という声があった。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について 思っていること（要望・問 題など）</p>	<p>部局同士とのつながりが弱い。 問い合わせがあっても、案内が できない。たて割りになっている。 サービス対象が学生よりも先生の ときがある。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」 についての感想</p>	<p>名前しか知らない人の顔を見て 話ができて良かった。 皆、似たような問題意識を持っている ことがわかった。 (支那のメット直前に来るのは やめてほしい。)</p>
<p>③今後の「学びのひろば」 への要望</p>	<p>↓</p>



平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について 思っていること（要望・問 題など）</p>	<p>大学の仕事を全体的にみて、全職員からの 立場から自分の持ち場を意識できる体制を 目指すべき。手放しての仕事にうもれて、本 来のミッションを見失うことがないようにしていく 必要がある。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」 についての感想</p>	<p>自由な議論の中で、一定の方向性を見出だ せよかった。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」 への要望</p>	<p>「情報の共有化」の必要性が見えたので、 その達成方法を模索すること。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について 思っていること（要望・問 題など）</p>	<p>もっと活用してほしい。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」 についての感想</p>	<p>みなさん話しやすいばかりで、とても おもしろかったです。自分の考えも言えたし、 みなさんのお話を聞くと、知らないこと も多く、改めて気づかされたことがすごく 多かったです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」 への要望</p>	<p>あまり大きなグループじゃない方が 緊張せずに意見が言えるので、 希望です。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 運営者側の情熱、何がしたい、どうあって欲しいなどが見えない。どうしてもお客さん感覚になってしまうのだが、「主役はあなた方です！」と言われてしまうと「そ、そうですか。」程度の感想となる。</li><li>・ 求心力が無いので学びのひろばのスローガンを考え、広めた方が良いと思います。「学びのひろば2010 テーマは全員が主役」など。</li></ul>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について 思っていること（要望・問 題など）</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 国際化について 掲示物やWebサイト、配布物の英訳を "ここに行けば、学内の人なら誰でも 相談できる"という部署(?)がほしい。</li><li>• <del>学外者</del>に好する情報発信の場として Webサイトはできるだけ統一感が あるといいと思う。 など</li></ul>
<p>②第1回「学びのひろば」 についての感想</p>	<p>とてもありがたい場だった。 これから参加したい。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」 への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• いろんなテーマと、立場を継いで 話し合っていたい。</li><li>• 参加者もひとまとまりのフォローに して、何かできるかもしれない（具体的 な案はないか...）。</li></ul>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>・事務局と部局との距離感がある。 ・情報の共有化が、はかられていないような感じがする</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>今回、初めて参加させていただいたのが、違う部署の方々と色々な話ができて楽しい時間を過ごしました。 仕事や仲間との関係なども聞いて知ることもでき、又、勉強になった所もあり良かったです。 (ありがとうございました。)</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>ぜひ互いの方々に参加して頂けるように企画してほしい。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>働きやすい職場だと思っています。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>普段お話できない方や、電話でしかお話したことのない方と、お会いでき、大学についてお話できたのでよかった。また色々な意見が聞けて、勉強になりました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回のように堅苦しい感じではなく、誰でも参加しやすい「学びのひろば」を開催してほしいと思いました。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署の連携が不足していると感じます。また、他部署はもちろん同じ課でも他の係の業務を十分に理解していないのは問題だと思います。</li> <li>・大学の目標（目指すもの）が職員全体で共有されていない。「国際化」などキーワードではなく、実際どのようなことをするのかまで知っていなければならないはずですが、自分を含め理解が不十分であると感じます。</li> <li>・もっと積極的に大学をPRすべきです。各自、業務を行うなかで大学を紹介できるチャンスがあると思います。私が業務で行った産学連携活動の各種展示会でも、もっと大学のアピールができると感じています。そのためには大学について（概要や特色、取り組みなど）知る必要があります。</li> </ul>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>他部署の方と話すことで、各部署が抱えている悩みや、それぞれが大学について思っていることを知ることができ、とても有意義なものでした。</p> <p>自分の悩んでいることも、グループの方からアドバイスをいただくことができたので、業務に生かしていきたいと思います。</p> <p>もっと積極的に自分から動かなければならないと、仕事に対する意識が変わりました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>大学の良いところ、改善すべきところ、より大学を良くするために自分たち職員が何をすべきか、より率直に話し合える場になればよいと思います。</p> <p>今回、案としてあがった他部署の職場体験にとっても興味を持ちました。</p> <p>また、本学の良いところや特色を1人（またはグループ）で1つプレゼンし、職員全体で共有するというのはどうでしょうか。（それを来期新規採用職員にも紹介するといいい、との意見もありました）</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>各業務の担当者間の部局横断的な横のつながりがなく、同じ内容の仕事をしていても、やり方が部局によって違っていることが非効率のように感じています。</p> <p>担当者間で情報交換する機会を作り、一番効率的なやり方を検討し、全学的に統一することができると良いように思います。</p> <p>また、様々な情報が全学的に伝わりにくいように感じています。</p> <p>学生全員、教職員全員に情報を伝達する手段がないので、その方法を確立できると良いと思っています。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>通常の業務では関わることの少ない部署の方との情報交換や意見を聞くことができ参考になったし、楽しめました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>運営者の負担が大きくなるないやり方で、回数や参加者の幅を広げてもらうことを願います。</p> <p>毎回、運営者を変えても良いのではないのでしょうか？</p>



平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

- 現在、横浜国大について思っていること
- 第1回「学びのひろば」についての感想
- 今後の「学びのひろば」への要望

平成22年度第1回「学びのひろば」に参加をしました。とても有意義な時間を過ごさせて顶きました。貴重なお時間を設けて頂きありがとうございました。参加させていただいた感想は以下の通りです。

- (1) 意見交換を始めて、後半から話が盛り上がってきたので、もう少し意見交換の時間が欲しかった。
- (2) 運営委員の方の指定された班での意見交換であったが、1時間交代でもう1つ違うメンバーでの意見交換もしたかった。(例) 14:00~15:00→5班・15:00~16:00→3班
- (3) 学びのひろばに参加する人数が少ないと感じた。
- (4) 運営委員をもう少し増やした方が良いと感じた。

以上の4点です。

(1)、(2)に関しては次回以降に充分反映できる点であると思うのでご検討を頂ければ幸いです。

(3) 学びのひろばに参加する人数が少ないと感じた。については真剣に考える必要があると感じています。学びのひろばには「より良い大学にしていこう!」と希望に目を輝かせている若い世代の職員の方で溢れかえっているのかと思っていました。しかし、実際には40人前後の職員しか参加していない現状を見ると、喜べない気持ちがあります。

私は、この横浜国大の自然に恵まれた素晴らしい環境の中で毎日働けることを誇りに思っています。またこの職場にも負けないとても優秀な先生方、職員の方々がたくさん勤務されていることもわずか1年半の中で知ることができました。そんな恵まれた環境と優れた教職員の方々の下で、多くの学生に学んで欲しいと思っています。より良い大学環境作りの場としてこの学びのひろばがあるだと思っています。今回の課題であった「横浜国大について」。各班ご分かれ、情報共有、情報発信の欠如・不足等が多く話しあわれたようです。

自身が受け持っている日常の業務の内容の他に、どれだけ他課の仕事に係ってゆけるのか。より正確な情報を発信し、受け手の理解を求められるのか。これは簡単に思えて非常に高い職員の資質が求められます。他の職員の職務や置かれている現状を理解し情報を発信していくには心のゆとりが必要です。しかし、日頃の努力によってそれも十分に成しえることのできる事だと感じました。

少子化の時代が到来している今、全職員が集まってより特色ある大学環境作りを話し合わなければならぬ時が来ていると感じています。そのような大学を取り巻く環境の危機感の欠如の方を心配しています。

横浜国大の在籍生徒を見ると地方出身の生徒が多数を占めていることが分ります。これは少なからず、少子化の風を受けているのかと分析しています。神奈川・東京出身の学生が極めて少ないという現状を深刻に考えなければならぬと思います。東京に進学できなかった学生が、第2、第3の希望として横浜国大を選択しているのだとしたら、それは深刻な問題となります。

どうすれば、魅力ある・特色ある大学作りができるのでしょうか。

その第一歩として、もっと多くの職員の参加の下で学びのひろばが開催されることです。昨年度第2回学びのひろばで講演された久保東京大学理事のお話が思い出されます。「国立大学を取り巻く現状を良く見詰め、今後進むべき道について1歩も2歩も先に模索しあう共有の時間を過ごすことが重要」なのだと思えます。

「仕事が忙しいから…」 「今回は参加を控えるよ…」 という気持ちで学びのひろばの参加を辞退している職員がもしいるのだとしたらとても残念です。忙しくても、大学の将来のために時間を作って参加していくという気持ちを持って欲しいです。そんな熱い気持ちを持った職員が沢山集う大学でなければ厳しい少子化の時代を乗り越えていくことはできないと感じます。

(4)こそが(3)の改善策の1つのキッカケとなれば良いと思えます。

事務局長が学びのひろばの冒頭でお話されたように、職員が主役となるにはどうすればよいのか。を考えてみました。

この学びのひろばに「参加する」とう感覚が良くないのではないのでしょうか。

「招かれる」から「参加しない」選別が生まれる。

「招かれる存在」ではなく「招く存在」となる職員の育成が重要です。それこそが職員が主役となる活発な大学作りへの第一歩です。そういう意味で、全職員が運営委員となれるような働きかけがなければならぬと思います。多くの若い職員が学びのひろば運営委員となる環境作りが必要です。運営委員の増員を通して多くの情報が発信され、全学共有のネットワークもそこから広がってゆきます。

現運営委員方々がどのような働きかけをして増員をしていくかが今後の課題と言えます。

電子化が発達しています。電子メールで学びのひろばの案内はしても、出欠を集うのは人と人との呼びかけの中で行った方が良いと思います。

以上が今回の学びのひろばに参加して感じた感想です。

乱筆乱文大変失礼致しました。

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>実際の議論の場でも多くの具体例が示されましたが、情報の共有・活用において各所に改善の余地があるのではないかと感じます。現状でなぜそれができていないかその原因としては、半ば伝統化され凝り固まってしまったセクショナリズム、情報というものの自体への無頓着およびその価値への認識不足などがあげられるのではないかと思います。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>各班とも積極的な発言がなされていたようで、それぞれ普段は別の部署で働いている職員同士が、お互いにどのような考えを持っているかを知ることができたということにおいて、有益であったと思います。同時に部署を超えて、各々の問題意識に多くの共通点が見出せたことは、非常に興味深いことでした。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>開催時期、内容、参加方法などについて「学びのひろば」自体の広報活動を、もっと積極的に行ったほうがよいのではないかと感じました。</p> <p>それから職員同士が議論することは有意義であると思いますが、主張を組み立てるにはまずその素材となる広範な知識が必要です。それで、講演のようなプログラムも並行して行っていくことが良いのではないかと感じました。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>パート職員として仕事をして最初に感じたのは、(事務)職員の人材育成が不十分である点です。</p> <p>仕事についた当初は、引継ぎもなく、また、業務マニュアルもないため手探りで仕事を進めるしかなく時間ロスが大きく効率が悪かった記憶があります。</p> <p>非常勤職員(パート職員)の比率が高いので、事務補佐員が3年雇い止めで交代した際に戦力が低下しない組織力を確立する必要があるのではと思っています。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>職員として教員のパートナーになるための勉強の場に、パート職員であるにもかかわらず参加させていただき感謝しております。</p> <p>普段接することのない部署の方々の意見を聞くことができ、パート職員だけの問題かと思っていた点が、実は部局毎に仕事のやり方が違うことで(タテ割り)常勤職員の方々も異動時に戸惑いを感じて仕事をしている実態を知ることができ、非常に参考になりました。</p> <p>しかし、グループ討議後全体討議で次回への方向性を決定すると思っていたので、ちょっと残念な気がしました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>教員が求めるパートナー像を明示していただければ、そのために必要なスキル・マインドなど学ぶことができると思います。</p> <p>また、それに沿った今後のテーマとスケジュールを事前連絡いただければ、参加者のベクトルも合い今後の討議もしやすくなるのではと思いました。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>「私立大学は理念やスピリットにより人が集まり結びついている。国立大学にはそういったものは必要ないのかもしれないが・・・」と早稲田の総長（だったと思う）が卒業式で話していました。</p> <p>面接を受ける際にいくつかの大学の理念や行動指針を読みましたが、確かに医大や芸大、外大などの一部の国立大学を除いて、国立大学にはあまり独自性が感じられませんでした。</p> <p>横浜国大が他大学と差別化を図り、独自性を強めていくために、まずは自分たちが横浜国大の強みを認識し、さらに伸ばしていかなければならないと思っています。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>自分を見つめなおす良い機会となりました。しかし、少し場の空気が堅く、緊張してしまいました。</p> <p>後日、「学びのひろば」で知り合った方と、学内で再会し、仕事がスムーズに出来たので、参加して良かったと思いました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>自分の意見をまとめるためにも、まずは知識や情報が必要だと思うので、講師の方を招いて講演会なども開いてもらいたいと思います。</p> <p>また、横浜国大の良いところを話し合っ、発表するというようなことをやってみたら良いのではないかという案も班で出ていました。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>まだ採用になって日が浅いのでよくわかりませんが、みなさんまじめで穏やかな方々だなあと感じています。</p> <p>さまざまな国大グッズを開発されているようですが、国大といえばこれというものが無いのが残念です。たとえば、強いスポーツや有名な建物、名物の食べ物など</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>他部署の方、年齢の異なる方のお話を聞くことができ有意義でした</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>毎回同じメンバーが参加するというよりは、新しい方が参加されるほうがよいと思います。いつも同じメンバーで固定してしまうと、新規に参加するのに、敷居が高くなるのではないと思います。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>、ひとつの業務に打ち込みが中かりにくく、事務向の横のつながりが乏しい。          (必要と感じる人の数が少ない?) )</p> <p>ただ、個人的には当部署の先輩方が事務のノウハウを助けてもらっていることに感謝しています。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>部署から参加した身としては少し温度差というか天と地の差を感ずる選択は意外感があった。</p> <p>同時に大学の将来や中で働く教職員の環境のこと、真剣に考える事務の方がいることに驚いた。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>何回もやっていくしかないし、私のように非常勤は勿論、毎日膨大な業務を背負う常勤さんの参加を促す努力が必要だと思う。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>キャンパスの立地条件により学内教職員からは交通の便が悪いという話を時々耳にし、私自身もまた、そう思うことがありますが、そのような悪条件を一掃するような学生へのサービスの充実や、在学生が充実した学生生活を送れるよう、キャンパス内の環境整備も更に推し進めていくことで、受験者数の増加や在学生のレベルアップに繋がり、大学が発展していくと思います。また、本学の良い面も、学外に対してもっとアピールする努力が必要だと思います。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>日頃仕事で接点のない人、電話やメールではよくやり取りしているが、実際会って話したことがない人と顔を合わせる機会を持つことができたこと、それぞれの立場からお互い思っていることを話し合う機会を持つことができたことを、幸運に思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>常勤・非常勤問わず、なるべく多くの人が参加できるよう、敷居の低い場であること、また、良いことも悪いことも含めて自由に発言できる場であって欲しいと思います。この場で出された意見について検討していただき、今後の職場環境の改善に役立てていただければ幸いです。</p>



平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員-事務員、事務局-部局等に仕事に対する温度差がある。</li><li>・職員間の情報共有が不完全。</li><li>・大学を象徴するモニュメント等がない。</li><li>・全体的に中途半端。大学の規模・偏差値・特徴、部局の数・種類、大学の場所、学生の質など。←ある意味、メリットでもある。大規模であるより、動きやすい、改革しやすい。</li></ul>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・普段、仕事で接しない職員の方や、新規採用の方などとお話する機会ができて、大変よかったですと思います。</li></ul>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・まだ参加していない人にも参加してもらおうとよいと思います。</li></ul>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>私は、本学に採用されてから5年目となりますが、その間に3年ほど人事交流で外部に出向していたため、現時点で実質1年半ほどしか横浜国大には勤務していません。そのため、横浜国大の良さや問題点については、自分自身ではそこまで把握していないというのが現状です。今後勤務しているうちに自身でも横浜国大の良さや問題点が見えてくると思います。</p> <p>月並みな表現になってしまいますが、所属している学生だけでなく、本学に勤務する職員にとっても魅力的な大学であって欲しいと常に思っています。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>普段、職員のみなさんが思っていること、考えていることを聞くことができ、とても参考になりました。参加して思ったのは、職員が共通の問題意識(今以上に情報の共有化をしたほうがいいことや職員同士のコミュニケーションをより活発にしたほうがいいなど)を持っていることには驚きました。みなさんが共通の意識を持っていれば、次回からの「学びのひろば」では、この問題を改善できるよう議論ができると思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>何事にも長所と短所は存在し、物事をより良いものにするためには長所を伸ばす方法と短所を改善していく方法があると考えます。今回の「学びのひろば」では、職員が考えている現時点での横浜国大の問題(短所)が明確になり、今後改善策については話し合いができるかと考えます。ただ、各グループの議論結果を聞いていても横浜国大の良さ(長所)についてはあまり挙げられなかったのは非常に残念です。</p> <p>今後はグループ等で横浜国大の良さを伸ばしていく議論も行い、結果本学がより魅力的な大学になることを期待しております。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>国大に入って1年3ヶ月が経ちましたが、縦割り意識が強い気がしています。私がひとつの課しか経験していないからというのもあるとは思いますが、部局で何をしているかが見えてこないですし、部局も事務局が何をしているのか見えていないと思います。情報の共有ができていないことが縦割り意識を強くしている原因だとは思いますが、決してそれだけではなく、縦割り意識が強いから情報を共有しようとしていない面もあるのではないかと思います。その裏には、なるべく自分（もしくは自分の課）の仕事を減らそうという意識（無駄をなくそうという意味ではなく、誰かがしないといけない仕事をどうにか他の課にやらせようとする意識）が見え隠れしています。</p> <p>本当はそれぞれの課が、お互いを他の課の仕事を押し付けてくる「外」の人としてではなく、同じ目的に向かって同じ「中」の人として見えるようになるのではないかと思います。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>話が盛り上がりませんが、普段なかなか接する機会のない方々と一緒に時間を共有し、話ができただけが何よりの収穫だと思います。なぜならば仕事をする上でも相手を少しでも知っていることが、相手を「外」の人ではなく「中」の人として見ることに繋がってくると思うからです。どこまで可能かは別として、みんなが他の部局の人達を「They」として捉えるのではなく「some of us」と思えるようになれば、大学全体がひとつのチームとして動けるようになるのではないのでしょうか。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>いろいろな部局の人が集まって話をする場合、それぞれの個別の業務の具体的な話をしてしまうと、共感が持てなかったり想像しにくかったりするところがあると思います。「職員としてどうあるべきか」とか「どうすれば縦割り意識を弱くできるのか」とか、誰にでも共通する決まったテーマで話ができると良いと思います。次回は「情報の共有」という決まったテーマについて話すようでしたので、楽しみにしています。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>もっともっと横国の評価、人気、ランキングを上げたい、そのために貢献できればと思っています。大学の評価、人気は時代とともに変わるし、経済的理由で国公立大学の人気が高まっている今は質の高い学生を集められるチャンスだと思います。横浜という立地条件、緑の多いキャンパス等、恵まれた環境もアピールして、まだまだ上にいってほしいと願っています。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>今回初めての参加でした。「学びのひろば」というタイトルから何か講義を受けるのかと思っていましたが、だいぶイメージと違いました。「学びのひろば」というより「語りの広場」といった感じでしょうか。</p> <p>非常勤で学内に人脈が薄い私には、総務部以外の方の日々の業務内容が聞けたことは大変新鮮でした。それぞれ立場が違うと、意外な苦労があるのだと知りました。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>「非常勤(含派遣)の広場」の開催</p> <p>法人化後も、職員の方からは特に変わらないという意見をよく耳にします。他社で何年か働いてきた者には、横国に来て良くも悪くもびっくりすることがあります。「学びの広場」は組織の枠を超えた貴重な集まりですし、“横国で驚いたこと”と題して、末端で働く私たちの率直な意見も経営陣の方に届けていただく機会（あくまで参考）になればと思います。</p>

平成22年度第1回「学びのひろば」アンケート

<p>①現在、横浜国大について思っていること</p>	<p>今回の会合の中でも度々指摘されていましたが、部局間の交流をもっと活発に行えたらいいです。</p> <p>仕方ないことかもしれませんが、それぞれが持ち場の業務に手一杯で、他部局がどのような業務を担っているか、私を含め若手職員は特に理解できていない部分も大きいかと思います。</p> <p>学生へのサービスの質を上げるためにも、教職員同志の業務の負担を軽減するためにも、まずは係・部局の枠を越えて交流をもち、それぞれの業務に興味を持つことが重要だと思います。</p> <p>ということで多くの人と仲良くなるために、飲み会したいです。</p>
<p>②第1回「学びのひろば」についての感想</p>	<p>業務ではあまり関わるのがなさそうな部局の方とも同じ班になれたので、日々の仕事の様子を聞くだけでもおもしろかったです。</p> <p>今後あのようなスタイルで進めていくのでしたら、毎回違う班でいろいろな部局の方と交流を深めたいです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>次回のテーマは「情報の共有」（でしたっけ・・・）とのことですが、最終的にどこに行き着くのか主催者も予測できなそうなところがおもしろいと思います（それともある程度ビジョンがあるのでしょうか）。</p> <p>みんなで仲良くなるためにミニ運動会とかいかがでしょうか。</p>